

2024 年度 事業計画書

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

目 次

はじめに.....	1
1. 環境認識.....	1
2. 基本方針.....	1
事業別基本方針.....	3
I. 競技会事業（公益目的事業 1）.....	5
【2024 年度の計画概要】.....	5
1. 競技会の主催（公益目的事業 1.1）.....	6
2. 運営環境の整備（公益目的事業 1.2）.....	8
3. ディレクターの養成（公益目的事業 1.3）.....	8
4. 競技会事業管理（公益目的事業 1.9）.....	9
II. 普及事業（公益目的事業 2）.....	10
【2024 年度の計画概要】.....	10
1. 体験イベントの開催（公益目的事業 2.1）.....	11
2. 講習会の開催（公益目的事業 2.2）.....	11
3. 体験教室・講習会等の実施支援（公益目的事業 2.3）.....	12
4. 広報（公益目的事業 2.4）.....	13
5. 普及事業管理（公益目的事業 2.9）.....	14
III. 国際交流事業（公益目的事業 3）.....	15
【2024 年度の計画概要】.....	15
1. 国際競技会の主催（公益目的事業 3.1）.....	16
2. 国際競技会への代表派遣（公益目的事業 3.2）.....	16
3. 国際的競技団体との交流（公益目的事業 3.3）.....	18
4. 国際交流事業管理（公益目的事業 3.9）.....	18
IV. 公益事業共通.....	19
【2024 年度の計画概要】.....	19
V. 収益事業等.....	20
【2024 年度の計画概要】.....	20
1. 公認（収益事業等 1）.....	20
2. 商品販売（収益事業等 2）.....	21
VI. 法人・管理部門.....	22
【2024 年度の計画概要】.....	22
1. 会員・会友.....	22
2. 組織運営.....	22
3. 常設委員会.....	22
① 企画委員会.....	22
② センター協議委員会.....	22

はじめに

1. 環境認識

2023 年度も新型コロナウイルス感染症（以下、コロナという）のブリッジ界への影響を意識しながらの 1 年となった。2023 年 3 月のマスク自由化、同 5 月の新型コロナウイルス感染症 5 類移行による空気感の変化が期待されたが、あまり変わらなかったというのが実感である。セクショナルのテーブル数は 2022 年度とほぼ同水準のコロナ前の 85%程度にとどまり、ウィークリーは 2022 年度より増加したもののコロナ前の 70%程度となった。連盟主催競技会のナショナル、リジョナルの参加者も減少傾向が続いている。感染防止対策についても 1 年前、2 年前と大きくは変わっておらず、ブリッジテーブルにおいてマスクを着用しているケースが多い。

センターの経営についても同様で、コロナ以前に近いレベルにまで戻ったセンターも中にはあるが、まだまだ厳しいセンターが割合的には多い。クラブも収支、参加者の確保に苦しんでいる。そういった状況をうけて JCBL は 2021 年度から 2023 年度までの 3 年間、クラブの登録料の半額免除を行った。

会員会友数の減少傾向が続いている。コロナ前の 2019 年度は約 7,500 人だった会員会友数は 2023 年度末で約 6,000 人となった。コロナをきっかけとした退会、ブリッジ離れがあり、高齢化も顕著になっている。さらにはコロナによる普及活動の停滞も見逃せない。募集してもなかなか思うように人が集まらないケースや、毎週参加することのハードルが高くなり、体験教室および入門講習会の参加者人数が伸び悩んでいる。

一方、国際競技大会のほうは、コロナ前の状態にほぼ戻っている。2023 年度はコロナにより 1 年間延期された第 19 回アジア競技大会が 9 月に中国の杭州で開催された。男子団体および混合団体に出場し、男子団体では銅メダルを獲得、混合団体では 6 位入賞した。ブリッジ界としては初のメダル獲得となり、スポーツ競技としても存在感を示すことができた。6 月には APBF 選手権が開催され、惜しくも世界選手権の出場権は得られなかったが貴重な国際競技大会の場となった。ユースの活躍ぶりも目立った。5 月のユース APBF 選手権で U21、U26 の両部門の世界選手権の出場権を獲得すると、8 月のユース世界選手権では U21 が 20 チーム中 12 位、U26 が 24 チーム中 16 位と両部門とも活躍し歴代の日本ユースでも屈指の好成績をおさめた。

さて 2024 年度は、コロナとの向き合い方は 2023 年度と大筋変わらないと思われるが、体験、入門講習会などの各種普及活動をより活発にし、会員会友数の減少傾向に歯止めをかける動きを進めていきたい。競技会離れをしているプレイヤーが戻るきっかけになるような取り組みを考えていきたい。人が増えれば、センター・クラブも活気が増し収支状況も良くなってくる。各種競技会の参加者が増えれば、競技会の楽しさも広がってくる。そのためには収支を改善する取り組みを行い、近年は JCBL の総収入の減少により削減を余儀なくされている普及事業費の回復を行いたい。

2. 基本方針

昨年度の事業計画では、コロナによる影響が甚大である状況を鑑み、①コロナ下における収支の確保、②コロナ下での適切なブリッジ活動の実施、③管理部門の経費効率化、④センターおよびクラブへの支援、⑤コロナ後の対応の 5 点を基本方針とした。

今年度は、コロナが完全にはすっきりしないものの脅威はおさまりつつある状況を踏まえ、①収支の改善、②普及活動の活性化、③管理部門の再構築の 3 点を基本方針としたい。JCBL はコロナ前の 2019 年度と比較し、総収入が大きく下がり会員会友数も減少傾向にあり、コロナからのこれ以上の回復も期待できない状況にある。新たな行動を形にしていくことが求められる。

- ① コロナ下における収支の確保：2023 年度は公認料については 2022 年度より若干多い数字となったが、年会費収入、主催競技会収入が減少し、2023 年度全体としては 2022 年度とほぼ同程度の総収入に落ち着いた。2024 年度はユース代表の派遣費を削減すると同時に公益財団法人森村豊明会よりユース代表の派遣費の助成金をいただくことができ、ユース代表派遣の部分で大いに改善された。その結果 2024 年度の総収入は、年会費および主催競技会収入の合計で 300 万円程度減るもののその分を助成金で補い、2024 年度予算はトータルで 2023 年度並みの数字を見込んだ数字となった。2024 年度は収支改善の検討を進め、2025 年度以降の普及事業費の回復につなげていきたい
- ② 普及活動の活性化：コロナ下では、体験教室、入門講習会もなかなか参加者が集まらず、少人数で実施せざるを得ないケースが目立った。近年は SNS の活用や地方との連携を深めており、社会人を対象とした体験教室および入門講習会を一部実施している。コロナの影響も低下しつつあるので、ブリッジの新規体験者の獲得を増やしていきたい。口コミで紹介された新規体験者は継続率が比較的高めであるとの声があり、口コミを活性化する試みを実施する。
- ③ 管理部門の再構築：近年は事務局職員の世代交代を進め、職員 5 名の体制を定着させたところであったが、2023 年度に若手職員 1 名が退職した。その補充として 2024 年度は職員 1 名の新規採用を行うとともに、新職員の育成と定着を目指す。効率的な業務の実施と職員の能力向上に努める。

事業別基本方針

I. 競技会事業（公益目的事業 1）

【競技運営】

感染防止対策に配慮は継続し、安心な競技会環境の提供を図る。主催競技会の運営においては、世界各国からも高い評価を受けている大会運営ノウハウを生かして質の高い競技会の提供に努めるとともに、担当ディレクターや参加者からの意見やニーズを収集して問題点や課題の把握に努め、迅速に対応していく。

【競技会の向上】

中長期的な課題として、よりよい競技機会を広く提供するために競技会の内容の見直しと競技会参加者に対するサービス向上を図る。

【JTOS】

競技会運営管理システムの整備・改善に努める。競技会運営ソフト（JTOS）については競技会事業部が継続して保守にあたることとし、使用者のニーズに合わせた新バージョンを随時リリースする。スコア入力システム（ブリッジメイト）の貸与及び導入支援を継続する。

【ディレクター育成】

ディレクター講習会を継続し、競技会運営のレベルアップを図る。ナショナルディレクター養成プログラムに関しては実施を中止した。

【ブリッジの規則改正】

デュプリケートブリッジの規則の改正が日本では 2018 年 3 月 31 日から施行され、定着している。今年度はさらなる周知と適切な使用に努める。

II. 普及事業（公益目的事業 2）

【広報活動】

各種 SNS による積極的な情報発信に努める。地方との連携を緊密に行っていく。社会人を対象とした新規体験への勧誘を進めていく。プレスを巻き込んだ効率的な広報戦略を立案し行っていく。

【入門講習会支援】

新聞に開催告知広告（現在、より効果的な手段を検討中）を掲載し、各センター・クラブ主催の体験教室、入門講習会の参加者の増加を図る。「優待券進呈キャンペーン」を体験教室参加者に拡大し、口コミを活用した体験教室、入門講習会の参加者獲得を推進する。

【子どもおよびユース】

橋之介くらぶでは、四谷・大船の 2 会場でブリッジの基礎を学ぶ機会を提供する。大学生を中心としたユースプレイヤーの育成を図るため、オンラインを活用しつつ講習会の開催、合宿の補助、競技会への誘導、クラブ活動の支援を行う。

【大学でのブリッジ授業の開講】

大学でブリッジ授業を開講し、ブリッジに理解のある若い世代の確保とブリッジの知名度の向上を図る。東京大学・早稲田大学・青山学院大学・明治大学・大阪大学・京都大学でそれぞれ実施する。

【京阪神の普及活動】

カルチャースクールと連携して一般層の取り込みに力を入れる。大学生を中心とした若い世代に対しては競技会へ積極的に誘致してレベルアップを図る。

【その他各地域の普及活動】

福岡、札幌、仙台及びその他の全国各地域の普及活動に対して、広告宣伝への協力、指導ノウハウの共有を行い、体験教室の開催を支援していく。

III. 国際交流事業（公益目的事業 3）

【2024 ワールドブリッジゲームズ】

2024 年 10 月にアルゼンチンのブエノスアイレスで開催される 2024 ワールドブリッジゲームズにレディース、ミックス、シニアの各日本代表を派遣する。各カテゴリーでノックアウトステージへの進出を目指す。

【APBF ユースコンGRESS】

2024 年 5 月にタイのバンコクで開催される APBF コンGRESS に U21 および U26 の各代表チームを派遣する。

【世界ユースオープン選手権】

2024 年 7 月にポーランドのワルシャワで開催される世界ユースオープン選手権に U21 および U26 の各代表チームを派遣する。昨年の世界ユース選手権に引き続きユース代表の世界での活躍ぶりに期待し、初の入賞を目指す。

IV. 収益事業等

① 公認事業（収益事業 1）

- 公認事業関連業務は公認ブリッジクラブ及びブリッジセンターと連携し、より円滑かつ適正な事業運営となるようシステム化、効率化を進めていく。

② 商品販売事業（収益事業 2）

- 在庫管理や販売方法など関連業務の見直し及び効率化を図る。

V. 法人・管理部門

- 「新入会無料キャンペーン」を継続する。
- 各センター・クラブとの連携の強化、事務局業務の改善とマニュアル化を推進する。

I. 競技会事業（公益目的事業 1）

【2024 年度の計画概要】

(1) 計画概要

本事業は、当連盟自らが質の高い各種ブリッジ競技会を開催することはもとより、ブリッジセンター／クラブまたは個人が開催するものも含め競技会全般の質を維持し、よりよい競技機会を広く提供することを目的とする。この目的に照らして、(1) 競技会の主催、(2) 競技会運営環境の整備、(3) ディレクターの養成の 3 事業を行う。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	23,790,000	25,190,000	-1,400,000	
経常費用	54,290,000	54,020,000	270,000	
経常増減	-30,500,000	-28,830,000	-1,670,000	

(3) 事業別総括表

事業名	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
1.1 競技会の主催	経常収益	23,790,000	25,190,000	-1,400,000	
	経常費用	36,210,000	36,090,000	120,000	
	経常増減	-12,420,000	-10,900,000	-1,520,000	
1.2 競技会運営環境の整備	経常収益	0	0	0	
	経常費用	1,720,000	1,720,000	0	
	経常増減	-1,720,000	-1,720,000	0	
1.3 ディレクターの養成	経常収益	0	0	0	
	経常費用	100,000	100,000	0	
	経常増減	-100,000	-100,000	0	
1.9 管理費	経常収益	0	0	0	
	経常費用	16,260,000	16,110,000	150,000	
	経常増減	-16,260,000	-16,110,000	-150,000	

【事業別計画】

1. 競技会の主催（公益目的事業 1.1）

(1) 計画概要

① 主催競技会（詳細は次ページ表を参照）

- ・ ナショナル及びリジョナル競技会、日本リーグ、社会人 IMP リーグを開催する。
- ・ リジョナル競技会については、センター移管した 5 競技会が高い運営レベルを維持されるよう支援・監督する。
- ・ 地方からの参加者に対する交通費・宿泊費助成、前年度優勝者参加料割引を継続する。
- ・ 朝日新聞社杯を WORLD BRIDGE TOUR 登録の国際競技会として開催する。

② スリースターシリーズ

- ・ スリースターシリーズは 2024 年度も開催を継続する。スリースターシリーズ上位 12 名及び地方在住の上位 4 名までを JCBL 主催ナショナル競技会に招待する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	23,790,000	25,190,000	-1,400,000	
経常費用	36,210,000	36,090,000	120,000	
経常増減	-12,420,000	-10,900,000	-1,520,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
主催競技会	前年度並み	経常収益	23,790,000	25,190,000	-1,400,000	参加者は減少傾向
		経常費用	36,210,000	36,090,000	120,000	
		経常増減	-12,420,000	-10,900,000	-1,520,000	
ブリッジフェスティバル	休止	経常収益	0	0	0	ブリッジフェスティバル 無期限中止
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	

JCBL 主催競技会開催予定表

競技会名	日 程	開催日数	場 所	予定卓数
1) ナショナル競技会(全国大会)				
全日本ウィメンズチーム選手権杯	4 月 20、21 日	2 日	玉川高島屋 SC	40
全日本地域対抗戦選手権 (関東予選)	5 月 11、12 日	2 日	四谷 BC	30
藤山杯	6 月 29、30 日	2 日	四谷 BC	30
全日本地域対抗戦選手権 (決勝)	8 月 3、4 日	2 日	アクトシティ浜 松	32
外務大臣杯(予選・決勝)	8 月 24、25 日	2 日	四谷 BC	30
高松宮記念杯	9 月 14、15、16、21 日	4 日	四谷 BC / 五反田 BS	50
全日本女子ペア選手権 (予選・決勝)	10 月 5、6 日	2 日	四谷 BC	24
高松宮妃記念杯(予選・決勝)	11 月 2 日、3 日	2 日	四谷 BC	30
ブルーリボン杯	12 月 22 日	1 日	四谷 BC/名古屋 BC/大阪 BC	70
レッドリボン杯	12 月 22 日	1 日	高田馬場 BC	20
朝日新聞社杯	1 月 11、12、15 日	3 日	四谷 BC/五反田 BS /高田馬場 BC/渋谷 BC	80
2) 日本リーグ				
1 部	前期：6 月、7 月 後期：11 月・1 月	各 4 日	高田馬場 BC	16
2 部		各 4 日	高田馬場 BC	24
3) リジョナル競技会				
柳谷杯	4 月 6、7 日	2 日	四谷 BC/ 高田馬場 BC	60
サントリー杯	4 月 30 日	1 日	四谷 BC/名古屋 BC/大阪 BC	60
井上杯(予選・決勝)	5 月 25、26 日	2 日	四谷 BC	16
井上歌子杯	5 月 25 日	1 日	四谷 BC	20
渡辺杯	2 月 22、23 日	2 日	四谷 BC	40
4) 社会人リーグ				
社会人 IMP リーグ				12

2. 運営環境の整備（公益目的事業 1.2）

(1) 計画概要

本年度は以下の事業を実施する。

① 競技会運営管理システム

- ・ 競技会集計ソフト（JTOS）の保守・管理を行う。
- ・ スコア入力システム（ブリッジメイト）の使用法啓発活動、導入支援、貸与を行う。
- ・ 競技会速報システムを改良し使用を推進する。

② 競技会運営環境の整備と維持

- ・ 競技会の規模に応じた競技会場を確保し、運営設備の維持向上に努める。

③ 競技委員会管轄事項

- ・ 上告審理・裁定、公認コンベンションリストの見直し・改正・公表、ディレクター資格の審議・認定、マスターポイント規則の制定・改正を行う。

④ ルール委員会管轄事項

- ・ 「デュプリケートブリッジの規則」及び競技会運営に関わる諸規則・規定の解釈・通知・公表、上告委員会裁定へのさらなる上告の審理・裁定を行う。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	1,720,000	1,720,000	0	
経常増減	-1,720,000	-1,720,000	0	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
競技会運営システム	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	1,470,000	1,470,000	0	
		経常増減	-1,470,000	-1,470,000	0	
競技委員会	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	230,000	230,000	0	
		経常増減	-230,000	-230,000	0	
ルール委員会	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	20,000	20,000	0	
		経常増減	-20,000	-20,000	0	

3. ディレクターの養成（公益目的事業 1.3）

(1) 計画概要

本年度は以下の事業を実施する。

① ディレクター講習会

- ・ 例年通り、新人ディレクター育成のための初級ディレクター講習会を、東京で1回、地方で1回開催する。

- ほかに、クラブディレクターを対象とする講習会、及びセクショナルディレクターをめざす方を対象とする講習会を各 1 回開催する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	100,000	100,000	0	
経常増減	-100,000	-100,000	0	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
ディレクター講習会	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	100,000	100,000	0	
		経常増減	-100,000	-100,000	0	
ナショナルディレクター養成プログラム	休止	経常収益	0	0	0	ナショナルディレクター養成プログラムは取りやめ
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	

4. 競技会事業管理（公益目的事業 1.9）

(1) 計画概要

競技会事業部の目的を達成するために必要な人件費、交通費、消耗品費、印刷製本費、賃借料などの経費を支出する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	16,260,000	16,110,000	150,000	
経常増減	-16,260,000	-16,110,000	-150,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
管理費 競技会事業部	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	16,260,000	16,110,000	150,000	
		経常増減	-16,260,000	-16,110,000	-150,000	

II. 普及事業（公益目的事業 2）

【2024 年度の計画概要】

(1) 計画概要

今年度の普及事業は 2023 年度と同程度の予算額となる。トータル費用を抑え必要性が高い事業に絞って効率的に行うこととする。ブリッジセンター、ブリッジクラブ、カルチャーセンター、および個人の体験教室、入門講習会などへの助成は例年通りの基準で助成を行う。大学授業の実施については、6 大学全ての実施を予定しているが、引き続き半期の実施を基本とする。体験ブースの出展については、開催地の関係から国民文化祭およびねりんぴつくへの出展を見送る。霞ヶ関こども見学デーおよび春のキッズフェスタ 2024 に出展し、こどもや家族への体験の機会の提供を行っていく。ユース育成に関しては対面式による講習会を実施する。橋之介くらは大船、四谷の 2 センターで継続する。

広報については、アジア競技大会でのメダル獲得など、ブリッジ関係者にも響く話題を含めブリッジの魅力を効果的に発信していく。WORLD BRIDGE TOUR に登録された朝日新聞社杯をはじめとする国内競技会へ海外チームの参加を呼びかける。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	50,000	50,000	0	
経常費用	25,960,000	25,790,000	170,000	
経常増減	-25,910,000	-25,740,000	-170,000	

(3) 事業別総括表

事業名	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
2.1 体験イベントの開催	経常収益	50,000	50,000	0	
	経常費用	270,000	410,000	-140,000	
	経常増減	-220,000	-360,000	140,000	
2.2 講習会等の開催	経常収益	0	0	0	
	経常費用	1,030,000	1,030,000	0	
	経常増減	-1,030,000	-1,030,000	0	
2.3 体験教室・講習会等の実施支援	経常収益	0	0	0	
	経常費用	7,180,000	7,180,000	0	
	経常増減	-7,180,000	-7,180,000	0	
2.4 広報	経常収益	0	0	0	
	経常費用	3,870,000	3,870,000	0	
	経常増減	-3,870,000	-3,870,000	0	
2.9 管理費	経常収益	0	0	0	
	経常費用	13,610,000	13,300,000	310,000	
	経常増減	-13,610,000	-13,300,000	-310,000	

【事業別計画】

1. 体験イベントの開催（公益目的事業 2.1）

(1) 計画概要

ブリッジをよく知らない人々を対象に、気軽に参加でき、ブリッジに対する興味・関心を高めてもらうための各種体験イベントを実施する。

① 未経験者用イベント

・出展予定イベントは、霞が関子ども見学デー、春のキッズフェスタ 2024 とする。

② 子ども向け体験イベント（橋之介くらぶイベント）

・体験教室／入門講習会／練習会／競技会を開催し、20 名の新入会を目標とする。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	50,000	50,000	0	
経常費用	270,000	410,000	-140,000	
経常増減	-220,000	-360,000	140,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
文化・教育関連イベント出展 国民文化祭	休止	経常収益	0	0	0	見送り
		経常費用	0	140,000	-140,000	
		経常増減	0	-140,000	140,000	
文化・教育関連イベント出展 ねんりんピック	休止	経常収益	0	0	0	見送り
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	
文化・教育関連イベント出展 その他のイベント	前年度並み	経常収益	0	0	0	霞が関子ども見学デー
		経常費用	50,000	50,000	0	
		経常増減	-50,000	-50,000	0	
一般向け体験イベント フェスタ体験教室	休止	経常収益	0	0	0	ブリッジフェスティバル 非開催
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	
一般向け体験イベント 初心者大会開催	休止	経常収益	0	0	0	地方招待は見送り
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	
子ども向け体験イベント 橋之介くらぶ運営	前年度並み	経常収益	50,000	50,000	0	四谷、大船で開催
		経常費用	220,000	220,000	0	
		経常増減	-150,000	-150,000	0	

2. 講習会の開催（公益目的事業 2.2）

(1) 計画概要

ブリッジに親しみ、理解を深め、技量を向上させるための講習会を開催する。

① ユース向け講習会

・「ユース育成プロジェクト」の一環としてユース向け講習会を対面式で開催し、技術

向上支援を行う。ユース代表の選考方法を効率化し費用を削減する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	1,030,000	1,030,000	0	
経常増減	-1,030,000	-1,030,000	0	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
ブリッジインストラクター講習	休止	経常収益	0	0	0	
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	
ユース向け講習会 ユース育成 PJ	前年度並み	経常収益	0	0	0	対面式講習会
		経常費用	1,030,000	1,030,000	0	
		経常増減	-1,030,000	-1,030,000	0	

3. 体験教室・講習会等の実施支援（公益目的事業 2.3）

(1) 計画概要

体験教室や講習会等を開催する会員・会友や他の団体等に対して、人的支援、金銭的支援、用具や教材の提供及びノウハウの提供を行う。

① 一般支援

- ・各種体験教室・講習会等は、規定の範囲内で講師及びアシスタント料や交通費等を助成する。体験教室は要請があれば用具・教材の提供や連盟職員の派遣を行うことがある。入門講習会は原則として1期12回までの助成とする。
- ・体験イベント支援や海外クラブ支援は、原則として申請に応じて助成する。
- ・地方クラブ支援は、地方クラブ・センターのそれぞれの課題に応じた支援を行う。

② 教育現場におけるブリッジ講座支援

- ・東京大学、早稲田大学、青山学院大学、明治大学、大阪大学、京都大学の6大学で授業を開講する。昨年度は上記6大学の単位取得者数はそれぞれ、9名、20名、53名、39名、24名、19名であった。

③ 学校・学生支援

- ・学生クラブの活動支援を行う。
- ・学生リーグ主催の学生選手権への参加費用を助成する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	7,180,000	7,180,000	0	
経常増減	-7,180,000	-7,180,000	0	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
普及活動支援 助成規定・海外ク	前年度並み	経常収益	0	0	0	コロナの影響で申請件 申請数減少が続く
		経常費用	4,000,000	4,500,000	-500,000	

ラブ支援		経常増減	4,000,000	-4,500,000	500,000	
普及活動支援 地方活性化支援	休止	経常収益	0	0	0	職員の地方出張は見 送り
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	
学校講座支援 大学講座 東京大学	前年度並み	経常収益	0	0	0	講師：浅井潔 昨年実績を踏まえた
		経常費用	200,000	320,000	-120,000	
		経常増減	-200,000	-320,000	120,000	
学校講座支援 大学講座 早稲田大学	前年度並み	経常収益	0	0	0	講師：並木亮 昨年実績を踏まえた
		経常費用	780,000	700,000	80,000	
		経常増減	-780,000	-700,000	-80,000	
学校講座支援 大学講座 大阪大学	前年度並み	経常収益	0	0	0	講師：大橋正幸
		経常費用	380,000	380,000	0	
		経常増減	-380,000	-380,000	0	
学校講座支援 大学講座 青山学院大学	拡大	経常収益	0	0	0	講師：島村京子 昨年実績を踏まえた
		経常費用	700,000	440,000	260,000	
		経常増減	-700,000	-440,000	-260,000	
学校講座支援 大学講座 明治大学	拡大	経常収益	0	0	0	講師：清水映樹 昨年実績を踏まえた
		経常費用	620,000	290,000	330,000	
		経常増減	-620,000	-290,000	-330,000	
学校講座支援 大学講座 京都大学	前年度並み	経常収益	0	0	0	講師：小杉賢一朗 昨年実績を踏まえた
		経常費用	210,000	260,000	-50,000	
		経常増減	-210,000	-260,000	50,000	
学校・学生の普及 活動支援	前年度並み	経常収益	0	0	0	学生合宿への支援
		経常費用	290,000	290,000	0	
		経常増減	-290,000	-290,000	0	

4. 広報（公益目的事業 2.4）

(1) 計画概要

普及のターゲットごとに最適な広告メディアを選定して PR 活動やプロモーション活動を行う。

① 広報宣伝活動

- ・各種 SNS を活用しタイムリーな情報提供を豊富に行い、体験教室、入門講習会の参加者増加につなげていく。
- ・地方の各センター・クラブとの連携を緊密に行い、体験教室、入門講習会の宣伝や開催のための支援を行う。
- ・社会人の新規体験者、入門講習会参加者の増加を目指し、団体と連携をしながら宣伝を行っていく。
- ・メディア広告、地域イベント参加やブリッジ図書寄贈などの PR 活動を行う。

- ・体験型イベントに出展し知名度の向上とセンター・クラブの入門講習会の支援を図る。

② ウェブサイト運営

- ・入門用のコンテンツを整理し、わかりやすく見やすい構成に変更する。

③ 広報ツール、プロモーショングッズの作成・配付

- ・広報ツールやパンフレットの企画・開発を行う。プロモーショングッズを必要に応じて製作または購入する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	3,870,000	3,870,000	0	
経常増減	-3,870,000	-3,870,000	0	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
広報宣伝活動	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	3,500,000	3,500,000	0	
		経常増減	-3,500,000	-3,500,000	0	
ウェブサイト JCBL ウェブサイトの運営	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	270,000	270,000	0	
		経常増減	-270,000	-270,000	0	
広報ツールの作成・配付	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	100,000	100,000	0	
		経常増減	-100,000	-100,000	0	

5. 普及事業管理（公益目的事業 2.9）

(1) 計画概要

- ・ブリッジインストラクター登録管理と登録証発行（3月）
- ・普及事業部の目的を達成するために必要な人件費、交通費、消耗品費、印刷製本費、賃借料などの経費を支出する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	13,300,000	13,300,000	0	
経常増減	-13,300,000	-13,300,000	0	

(3) 個別事業一覧表

管理費 普及事業部	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	13,300,000	13,300,000	0	
		経常増減	-13,300,000	-13,300,000	0	

III. 国際交流事業（公益目的事業 3）

【2024 年度の計画概要】

(1) 計画概要

ブリッジは世界に多くの競技人口を有していることから、ブリッジを通じた国際交流を図ることは、国際親善・国際相互理解促進にとって有意義である。このため、(1)国際競技会の主催、(2)海外競技会への参加支援及び(3)国際的競技団体との交流の3事業を行う。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	4,350,000	1,850,000	2,500,000	
経常費用	20,620,000	22,210,000	-1,590,000	
経常増減	-16,270,000	-20,360,000	4,090,000	

(3) 事業別総括表

事業名	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
3.1 国際競技会の主催	経常収益	110,000	110,000	0	
	経常費用	0	0	0	
	経常増減	110,000	110,000	0	
3.2 国際競技会への参加費用助成	経常収益	4,240,000	1,740,000	2,500,000	
	経常費用	15,640,000	17,310,000	-1,670,000	
	経常増減	-11,400,000	-15,570,000	4,170,000	
3.3 国際的競技団体との交流	経常収益	0	0	0	
	経常費用	1,030,000	1,030,000	0	
	経常増減	-1,030,000	-1,030,000	0	
3.9 管理費	経常収益	0	0	0	
	経常費用	3,950,000	3,870,000	80,000	
	経常増減	-3,950,000	-3,870,000	-80,000	

【事業別計画】

1. 国際競技会の主催（公益目的事業 3.1）

(1) 計画概要

国際大会開催準備金については 2024 年度の積み増しは行わない。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	110,000	110,000	0	
経常費用	0	0	0	
経常増減	110,000	110,000	0	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
APBF 選手権/コ ングレス	前年度並み	経常収益	110,000	110,000	0	国際大会開催準備金 は継続
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	110,000	110,000	0	

2. 国際競技会への代表派遣（公益目的事業 3.2）

(1) 計画概要

① 日本代表選抜

- 日本代表選抜試合を開催し、2025 年度に開催される第 54 回 APBF 選手権のオープン、レディース、ミックス、シニアの各チームをそれぞれ選抜する。遠隔地からの参加者には、交通費と宿泊費を助成する。
- 代表チームの国内競技会参加費及び練習会の費用を助成する。

② 国際競技会派遣

- 2024 ワールドブリッジゲームズ

2024 年 10 月にアルゼンチンのブエノスアイレスで開催される 2024 ワールドブリッジゲームズにレディース、ミックス、シニアの各代表を派遣する。

- 日本代表のユニフォームを作成、代表選手に支給する。

③ 国際競技会派遣（ユース）

- APBF ユースコンGRESS

2024 年 5 月にタイのバンコクで開催される APBF ユースコンGRESSに U21 および U26 の各代表チームを派遣する。

- 世界ユースオープン選手権

2024 年 7 月にポーランドのワルシャワで開催される世界ユースオープン選手権に U21 および U26 の各代表チームを派遣する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	4,240,000	1,740,000	2,500,000	
経常費用	15,640,000	17,310,000	-1,670,000	
経常増減	-11,400,000	-15,570,000	4,170,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
日本代表選抜	前年度並み	経常収益	240,000	240,000	0	
		経常費用	1,000,000	1,000,000	0	
		経常増減	-760,000	-760,000	0	
国際競技会派遣 APBF 選手権/アジアカップ	非開催	経常収益	0	1,500,000	-1,500,000	APBF 非開催年度
		経常費用	0	4,370,000	-4,370,000	
		経常増減	0	-2,870,000	2,870,000	
国際競技会派遣 アジア競技大会 ／世界選手権	拡大	経常収益	2,000,000	0	2,000,000	ワールドブリッジゲームズ開催年度
		経常費用	8,440,000	5,000,000	3,440,000	
		経常増減	-6,440,000	-5,000,000	-1,440,000	
国際競技会派遣 その他	休止	経常収益	0	0	0	
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	
国際競技会派遣 日本代表ユニフォーム	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	680,000	680,000	0	
		経常増減	-680,000	-680,000	0	
ユース育成プログラム APBF／コングレス派遣	前年度並み	経常収益	0	0	0	U21 および U26 を派遣
		経常費用	1,260,000	1,260,000	0	
		経常増減	-1,260,000	-1,260,000	0	
ユース育成プログラム 世界選手権派遣	非開催	経常収益	0	0	0	
		経常費用	0	3,220,000	-3,220,000	
		経常増減	0	-3,220,000	3,220,000	
ユース育成プログラム 世界選手権/大学選手権	拡大	経常収益	2,000,000	0	2,000,000	世界ユースオープン選手権
		経常費用	4,260,000	1,780,000	2,480,000	
		経常増減	-2,260,000	-1,780,000	-480,000	
ユース育成プログラム その他国際競技会参加支援	休止	経常収益	0	0	0	
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	0	0	0	

3. 国際的競技団体との交流（公益目的事業 3.3）

(1) 計画概要

コントラクトブリッジを通じた国際交流を促進するため、本年度は以下の事業を実施する。

① 世界同時大会への参加

- ・ 2024 年に開催される世界同時大会開催に参加協力する。

② 海外競技会に参加する会員・会友の支援と海外への情報提供・収集

- ・ ACBL との提携の継続・強化：ACBL 競技会の開催予定情報を提供する。
- ・ APBF 加盟国・地域における競技会開催情報を提供する。
- ・ WBF 加盟国・地域における競技会開催情報を提供する。

③ JCBL ウェブサイトの活用

連盟サイトを通して海外に情報を提供するとともに、ブリッジ関連サイトから情報を収集し、会員に提供する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	1,030,000	1,030,000	0	
経常増減	-1,030,000	-1,030,000	0	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
国際的競技団体との交流	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	1,030,000	1,030,000	0	
		経常増減	-1,030,000	-1,030,000	0	

4. 国際交流事業管理（公益目的事業 3.9）

(1) 計画概要

国際交流事業部の目的を達成するために必要な人件費、交通費、消耗品費、印刷製本費、賃借料などの経費を支出する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	0	0	0	
経常費用	3,950,000	3,870,000	80,000	
経常増減	-3,950,000	-3,870,000	-80,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
管理費 国際交流事業部	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	3,950,000	3,870,000	80,000	
		経常増減	-3,950,000	-3,870,000	-80,000	

IV. 公益事業共通

【2024 年度の計画概要】

(1) 計画概要

基本財産運用益及び会費収入の 50%を公益事業及び法人会計にそれぞれ繰り入れ、公益事業活動の原資とする。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	10,700,000	12,100,000	-1,400,000	
経常費用	0	0	0	
経常増減	10,700,000	12,100,000	-1,400,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
公益事業共通	縮小	経常収益	10,700,000	12,100,000	-1,400,000	シニア移行と会員減少傾向
		経常費用	0	0	0	
		経常増減	10,700,000	12,100,000	-1,400,000	

V. 収益事業等

【2024 年度の計画概要】

(1) 計画概要

公認事業は競技会事業部が、商品販売事業は事務局が担当する。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	106,000,000	106,000,000	0	
経常費用	21,770,000	21,710,000	60,000	
経常増減	84,230,000	84,290,000	-60,000	

(3) 事業別総括表

事業名	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
1 公認	経常収益	102,000,000	102,000,000	0	2023 年度と同額を見込む。
	経常費用	16,090,000	16,060,000	30,000	
	経常増減	85,910,000	85,940,000	-30,000	
2 商品販売	経常収益	4,000,000	4,000,000	0	コロナ以降は売上伸び悩み
	経常費用	5,680,000	5,650,000	30,000	
	経常増減	-1,680,000	-1,650,000	-30,000	

【事業別計画】

1. 公認（収益事業等 1）

(1) 計画概要

「公認クラブとブリッジセンターに関する規則」に定める条件を満たしブリッジの普及に努める団体を公認クラブ及び公認ブリッジセンターとして承認し、その活動を支援するとともに、同規則その他当連盟の定める諸規程に基づいてこれらの団体が開催する競技会を公認競技会として承認する。公認競技会における各競技者の成績は、公式な成績としてマスターポイントを発行し、記録・管理する。

公認事業関連業務の見直しを行い、システム化と効率化を図る。

「センター協議委員会」を中心に公認ブリッジクラブ及びブリッジセンターとの協議を継続し、公認料制度の見直しを含め、ブリッジの普及と発展に資する公認制度の在り方を検討していく。

収益事業等 1.1 競技会の公認

① クラブ・センター主催競技会の公認

- ナショナル、リジョナル、セクショナル、ローカル、CCG、IMP リーグ、ウィークリーゲームを公認する。
- ナショナル、リジョナル、セクショナル、IMP リーグの公認料率は参加料の 22%を継続する。ブリッジセンターについては 2023 年度の普及活動実施状況により、2024 年度の公認料率を決定する。
- ユースプレイヤーに対する競技会参加料割引を実施する。

② マスターポイントの認定・管理

- ・ マスターポイントの集計・発行及びマスター位の認定を行う。

収益事業等 1.2 ブリッジクラブの公認と育成

① ブリッジクラブの公認と育成

- ・ ブリッジクラブ及びブリッジセンターを公認する。
- ・ 浜松リジョナルにあわせて地方クラブ会議を開催し、地方クラブの意見やニーズの把握に努める。また、会議に出席する地方クラブ代表に対する参加費用の支援を行う。
- ・ 「常設会場運営のためのサービス・ガイドライン」の運用、「ゲーム環境に係わるサービス向上のための意見書」対応、「緊急連絡システム」の運営、AED 設置及びバリアフリー工事支援事業を行う。

② 競技会開催支援

- ・ 地方リジョナル開催時のディレクター派遣費用の支援を行う。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	102,000,000	102,000,000	0	
経常費用	16,090,000	16,060,000	30,000	
経常増減	85,910,000	85,940,000	-30,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
競技会の公認	前年度並み	経常収益	102,000,000	102,000,000	0	2023 年度と同額を見込む
		経常費用	15,500,000	15,470,000	30,000	
		経常増減	86,500,000	86,530,000	-30,000	
コントラクトブリッジクラブの公認と育成	前年度並み	経常収益	0	0	0	AED 購入及びバリアフ
		経常費用	590,000	590,000	0	リー工事助成
		経常増減	-590,000	-590,000	0	地方リジョナル支援

2. 商品販売（収益事業等 2）

(1) 計画概要

コントラクトブリッジに関する書籍、競技用具等の販売を行う。在庫管理や販売方法など関連業務の効率化を図る。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	4,000,000	4,000,000	0	コロナ以降は売上伸び悩み
経常費用	5,680,000	5,650,000	30,000	
経常増減	-1,680,000	-1,650,000	-30,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
商品販売事業	前年度並み	経常収益	4,000,000	4,000,000	0	
		経常費用	5,680,000	5,650,000	30,000	
		経常増減	-1,680,000	-1,650,000	-30,000	

VI. 法人・管理部門

【2024 年度の計画概要】

(1) 計画概要

1. 会員・会友

① 会員・会友向け刊行物の発行

- ・ 会員・会友向けの以下の刊行物を編集・発行する。今後会報発行の頻度を削減することが可能か検討する。

『JCBL BULLETIN』（会報） 隔月刊年 6 回奇数月 1 日に発行、部数：6,000 部

『JCBL HANDBOOK』 毎年 5 月 1 日発行、部数：6,000 部

② JCBL ライブラリーの運営

- ・ 通常の新刊書に加えて、欠落していた図書の追加購入を行う。

③ キャンペーン

- ・ 会員・会友向けに以下のキャンペーンを実施する。

入会キャンペーン 前年度に引き続き新規入会者の会費を 2025 年 3 月まで無料にする「新入会無料キャンペーン」及び、紹介者に QUO カードを進呈する「紹介キャンペーン」を実施する。

ビギナーズ杯招待 初心者プレイヤーに対する競技会参加奨励策として実施。各ブリッジセンターで開催されるビギナーズ杯に抽選で招待する。

2. 組織運営

- ・ 事務局業務の改善に引き続き取り組む。組織運営体制及び事務局の人員体制の変更を勘案して、業務の効率化を推進する。
- ・ 内部統制力の向上のため、連盟内システムの見直しと改善を図る。

3. 常設委員会

① 企画委員会

- ・ 企画委員会は、毎年度の予算及び事業計画の策定のほか、10 年後の連盟及び会員・会友のあり方を想定して事業部ごとの中期計画を策定することと、連盟のさまざまな制度の見直しと改革を使命とする。
- ・ 今年度はコロナの影響下から抜けきれない状況における収支の確保、会員会友数の減少への対策を最大のテーマとする。コロナの感染防止対策は必要に応じて継続する。その他連盟の中長期的な財政基盤の充実と、現在のブリッジの競技環境の維持に取り組む。連盟主催・公認競技会の参加者を増やす方策を中心にすえて、連盟の事業運営の安定化をめざす。
- ・ JTOS の適切な運用に留意する。

② センター協議委員会

- ・ センター協議委員会は、競技会と普及活動の拠点であるブリッジセンターと当連盟との協力関係の構築を使命とする。
- ・ コロナに関する様々な課題にブリッジセンターと連携して取り組む。ブリッジセンターの経営安定化について情報交換を行い、必要な施策を行う。

- 過去に構築した連盟とブリッジセンターとの新しい会計基準の導入、対応の難しいプレイヤーに関するガイドラインの策定、体験教室・入門教室などに関する助成制度の見直しや追加などについて、今年度も引き続き見直しと拡充をはかる。
- 競技会参加者数の維持および新規参加者の増加に向けて、ブリッジセンターとの協議を通じて、さまざまな方策を提案できるよう努める。

(2) 収支総括	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
経常収益	12,440,000	12,440,000	0	
経常費用	38,710,000	38,380,000	330,000	
経常増減	-26,270,000	-25,940,000	-330,000	

(3) 個別事業一覧表

事業名	方針	区分	2024 予算	2023 予算	前年差	備 考
会員・会友 刊行物の発行	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	3,370,000	3,370,000	0	
		経常増減	-3,370,000	-3,370,000	0	
会員・会友 JCBL ライブラリー	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	5,320,000	5,320,000	0	
		経常増減	-5,320,000	-5,320,000	0	
会員・会友 キャンペーン	前年度並み	経常収益	0	0	0	
		経常費用	180,000	180,000	0	
		経常増減	-180,000	-180,000	0	
組織運営 管理部	前年度並み	経常収益	12,440,000	12,440,000	0	
		経常費用	29,840,000	29,510,000	330,000	
		経常増減	-15,400,000	-15,070,000	-330,000	